



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師

司会：安慶名栄輝執事

前奏	栄	5 4 0	会衆
主の祈り			〃
ブレイズ	「ホザナたからかに」 「イエスのように」		
聖書朗読	ルカによる福音書 4:14~22		司会
祈禱	(新約聖書 p 107)		〃
特別賛美	中高生会		
賛美	2 6 7		会衆
説教	「宗教改革と聖書」		牧師
祈禱			
賛美	2 2 5		会衆
献金			
報告			司会
頌栄	新生 6 7 2 B		会衆
祝禱			牧師



第二礼拝 (19:00)

英語礼拝 (English Service)

説教：エドリアン・アルセ師

Come and Join us! Let's praise the Lord!

(どなたもおいでください)



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：比嘉盛丈兄

<巻頭言>

「台風接近の中で」

牧師 渡真利彦文

台風が沖縄近海を北上している。台風の上陸は災害などの心配がつきまとう。しかし、台風による強風により害虫が吹き飛ばされることは歓迎だ。そして海の珊瑚礁も台風による海水が洗われることで元気になるそうだ。私たちの周りではマイナスと思われることが視点を変えればプラスとなることがよくある。

実りの秋を迎え、あなたはどのような収穫を楽しみにしているだろうか。秋といえばホールの秋、味覚の秋、読書の秋、芸術の秋など、様々な秋に遭遇することでしょう。

私の周りを見てもセミナー、講演会、運動会、研修会、コンサートなど、盛りだくさんでスケジュールに追われる秋と言ってよいだろう。全く忙しいと言わざるを得ない。しかし、落ち着いて考えてみると、すべてに参加する必要はない。自分の側で多種多様な中から選択することができる。結局周りが私たちに忙しくなるように煽り立てているのではなく、私の側であれもこれもと欲張り、忙しくしているのである。

「必要なことはただ一つだけである。」(ルカ 10:42) と言われた主の言葉が響いてくる。また、私たち教会はかき集めるのではなく、自ら駆け集まる場所を目指したい。さらに物事に賛同することも大事だが、物事を主導する者になりたい。台風接近の中、身も心も一新され、今年の教会テーマ「命の水となる」ことを改めて心に刻み、年度後半に向かって共に前進しよう。